



Institute of Labor Education & Culture

通信 No.50



編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F
tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422
URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>
発行責任者：専務理事 木村裕士

連合・教育文化協会共催

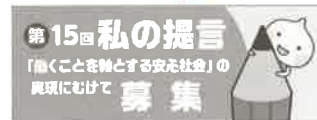
第15回「私の提言」を現在募集中！

7月27日(金) 締め切り

教育文化協会では、連合と共催で、「私の提言—『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて—」を募集しています。今回は、過去最多の67編が寄せられ、受賞提言6編が選出されました。第15回となる今回も、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた提言（6,000～8,000字程度）を、7月27日（金）まで受け付けています。どなたでもご応募できますので、各組織からも周知いただきますようお願いいたします。

- 募集内容 連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言をお寄せください。（オリジナルで未発表のものに限る）
- 表彰 優秀賞（表彰盾と副賞）20万円 佳作賞（賞状と副賞）10万円
奨励賞（賞状と副賞）3万円
学生特別賞（賞状と副賞）月1万円の奨学金×12ヶ月
※応募者にはもれなく記念品を贈呈（除く、入賞者）
- 応募方法 電子媒体（E-mailなど）による応募
- 応募先 公益社団法人 教育文化協会（info-ilec@sv.rengo-net.or.jp）
- 発表 2018年9月21日（金）予定

どなたでも応募できます！
詳しくは教育文化協会の
ホームページをご覧ください。



※教育文化協会のホームページに広報用清刷とホームページ用バナーのデータを掲載しておりますのでご活用ください。

Rengoアカデミー・第17回マスターコース後期合宿がスタート！

2017年11月に開講したRengoアカデミー・第17回マスターコースの後期合宿を、5月13日（日）から18日（金）までMELONDI Aあざみ野で行います。

後期合宿では、それぞれの修了論文の骨子・構想について発表し、講師も含めて全員で議論を行う「ゼミナール大会」が予定されています。受講生22名は現在、必修ゼミでの議論や先行事例の研究などを通じ、問題意識の深掘りに努めています。

受講生を派遣いただいている組織のみなさまには、引き続きご協力をお願いいたします。

第17回マスターコース後期合宿の講義プログラム

講義日	講義	講師
5/13 (日)	労働組合と政治	城島光力 元財務大臣 井村和夫 連合政治センター事務局長 高木郁朗 Rengoアカデミー副校長
	ゼミナールⅣ	ゼミナール担当講師
5/14 (月)	社会保障のとらえ方	菅沼 隆 立教大学教授
	男女平等参画と労働組合	井上久美枝 連合総合男女・雇用平等局長
5/15 (火)	雇用・労使関係の変化と労働法制の課題	毛塚勝利 法政大学大学院連帯社会インスティテュート客員教授
	ゼミナール大会	中村圭介 Rengoアカデミー教務委員長 ゼミナール担当講師
	ゼミナールⅤ	ゼミナール担当講師
5/16 (水)	日本の財政と社会政策の課題	加藤久和 明治大学教授
	経済政策の課題	大瀧雅之 東京大学教授
5/17 (木)	国際労働運動の課題と対応	鈴木則之 連合国際アドバイザー
	労使関係の課題	中村圭介 Rengoアカデミー教務委員長
	ゼミナールⅥ	ゼミナール担当講師
5/18 (金)	組織強化・拡大の課題と対応	山根木晴久 連合総合組織局長 中村圭介 Rengoアカデミー教務委員長
	連合の役割・行動Ⅱ — 連合運動における自らの行動	相原康伸 連合事務局長
		中村圭介 Rengoアカデミー 教務委員長

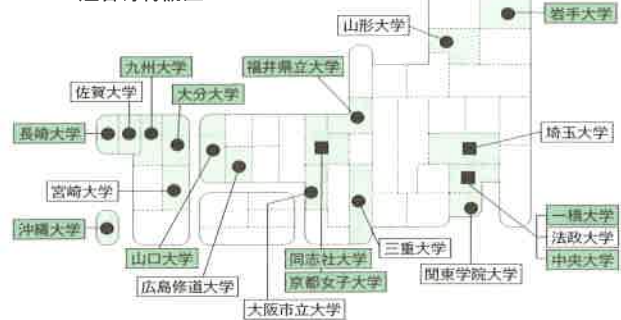
前期の連合寄付講座が全国各地で開講！

～地方連合会主催の連合寄付講座も着実に拡大～

4月より、同志社大学社会学部、一橋大学社会学部、中央大学経済学部で2018年度前期の「連合寄付講座」がスタートしました。

地方連合会でも、連合京都が京都女子大学で新規開講、連合長崎が長崎大学で2年ぶりに開講するなど、計8大学で開講しています。

※網掛けが前期に開講する
連合寄付講座



2018年度同志社大学 春学期「連合寄付講座：働くということー現代の労働組合」プログラム

回数	講義日	講義テーマ・タイトル	ゲストスピーカー
1	4/13	連合寄付講座で同志社大学の皆さんに学んでほしいこと 労働者を取り巻く現状と課題 — 労働組合の果たすべき役割とは —	南雲弘行 (公社) 教育文化協会 理事長
2	4/20	労働相談に見る職場の現状と労働組合の役割・意義 — 若者を取り巻く雇用の現状を中心に —	石黒生子 連合 非正規労働センター 総合局長
3	4/27	①総労働時間の短縮とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組み	宮本進平 生保労連 中央書記長
4	5/11	②非正規労働者の処遇改善に向けた取組み	鈴木辰夫 イトーヨーカドー労働組合 中央執行副委員長
5	5/18	③公務労働の現状と公共サービスの役割 — 公務関係労組の取組み —	國眼恵三 自治労 交通政策局長
6	5/25	④地域で働く労働者の雇用と生活を守る取組み — 連合大阪における取組み —	香川 功 連合大阪 副事務局長
7	6/1	⑤労働諸条件の維持・向上に向けた取組み — 賃金決定における取組みを中心に —	芳野友子 JUKI 労働組合 中央執行委員長
8	6/8	労働組合の意義・役割とは何か — 今一度振り返って考えてみる —	高木郁朗 日本女子大学 名誉教授
9	6/15	①すべての働く者のための取組み — 労働者福祉運動のさらなる広がりをめざして —	花井圭子 中央労福協 事務局長
10	6/22	②進行するグローバル化にどう対応するか — 国際労働運動の役割と取組み —	西原浩一郎 JCM 顧問
11	6/29	③地域における政策・制度実現に向けた取組み — 連合京都における取組み —	廣岡和晃 連合京都 事務局長
12	7/6	④ワークルール確立に向けた取組み — 労働規制緩和にいかに向き合っていくか —	内田 厚 連合 副事務局長
13	7/13	教員による論点整理①	同志社大学 教員
14	7/20	教員による論点整理②	同志社大学 教員
15	7/27	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	相原康伸 連合 事務局長

2018年度一橋大学 春・夏学期「連合寄附講義：現代労働組合論」プログラム

回数	講義日	講義テーマ・タイトル	ゲストスピーカー
1	4/16	【開講の辞】 連合寄附講義で一橋大生に学んでほしいこと 労働組合の基礎知識	南雲弘行 (公社) 教育文化協会 理事長 一橋大学 教員
2	4/23	働く人を守る ～ワークルールと労働組合～	石黒生子 連合 非正規労働センター 総合局長
3	5/7	職場における労働組合の役割	西原浩一郎 JCM 顧問
4	5/14	非正規雇用労働者の処遇改善にむけた取組み	柴原准二 KDDI 労働組合中央本部 事務局長
5	5/21	中小企業における労働組合の取組み ～魅力ある職場づくりと経営危機への対応～	川野英樹 JAM 副書記長
6	5/28	公務労働の現状と良質な公共サービスの実現をめざす取組み	榎本朋子 自治労 労働条件局長
7	6/4	仕事と生活の両立に向けた取組み	武田 建 味の素労働組合 中央執行委員長
8	6/11	地域における労働運動	町田義和 連合静岡 副事務局長
9	6/18	「働くということと労働組合」～その現代的意義を考える	高木郁朗 日本女子大学 名誉教授
10	6/25	すべての働く者のために① ～春季生活闘争と雇用労働法制に関する取組み	内田 厚 連合 副事務局長
11	7/2	すべての働く者のために② ～政策制度実現に向けた取組み	南部美智代 連合 副事務局長
12	7/9	教員まとめ	一橋大学 教員
13	7/16	【修了講義】 労働運動・労働組合とは何か ～「働くということ」を考える	逢見直人 連合 会長代行

2018年度中央大学 前期「連合寄付講座：働くということー現代の労働組合」プログラム

回数	講義日		講義テーマ・タイトル	ゲストスピーカー
1	4/17	導入	基礎知識①オリエンテーション	中央大学 教員
2	4/24		基礎知識②日本経済と労働市場	中央大学 教員
3	5/1		基礎知識③日本経済における労働組合の役割	中央大学 教員
4	5/8	課題提起	連合寄付講座で中央大生に学んでほしいこと 労働者を取り巻く職場の現状と課題ー労働組合の果たすべき役割とは	木村裕士 (公社) 教育文化協会 専務理事
5	5/15		今、働く現場で何が起きているのか ～労働相談から見た若者を取り巻く雇用の現状	石黒生子 連合 非正規労働センター 総合局長
6	5/22	ケーススタディ	労働組合の結成とその後の労使関係の変化	亀本伸彦 ワタミメンバーズアライアンス 中央執行委員長
7	5/29		男女平等参画・仕事と生活の両立に向けた取り組み	日下部大樹 生保労連 中央副書記長
8	6/5		春季生活闘争を通じた労働条件改善の取り組み	吉清一博 自動車総連 労働政策局局长
9	6/12		非正規労働者の組織化と処遇改善の取り組み	高橋一之 藤田観光労働組合 中央書記次長
10	6/19		公務労働の現状と公共サービスの役割ー公務関係労組の取り組み	豊福るみ子 自治労 組織対策局長
11	6/26	課題への対応	安心して働き続けられるための政策制度とは ～社会的セーフティネット確立の取り組みを中心に	伊藤彰久 連合 生活福祉局長
12	7/3		公正なワークルール確立をめざして～雇用・労働政策の取り組みを中心に	富高裕子 連合 労働法制対策局長
13	7/10	まとめ	【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて	相原康伸 連合 事務局長
14	7/17		これまでの講義についての論点整理	中央大学 教員
15	7/24		まとめ	中央大学 教員

教育文化協会が運営する同志社大学・一橋大学・中央大学連合寄付講座の各講義は聴講できます。講義の聴講を希望される場合はILECホームページ (<http://rengo-ilec.or.jp/>) よりお申し込みください。

「ワークルール検定2018・春」のご案内

ワークルールに関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催で2013年から実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

現在、2018年6月10日(日)に実施される初級検定と中級検定の受検申込を、5月13日(日)まで受け付け中です(実施会場は表のとおり)。詳細は日本ワークルール検定協会のホームページをご覧ください。

(URL) <http://workrule-kentei.jp/>



都道府県等	会場等
北海道	札幌 かでる2.7 (★)
	江差 江差町文化会館
	新ひだか 新ひだか町公民館
福島	ホテル福島グリーンパレス
埼玉	さいたま共済会館
東京	連合会館 (★)
静岡	レイアップ御幸町ビル (★)
和歌山	和歌山県JAビル
大阪	エル・おおさか南館 (△)
山口	山口県労福協会館
福岡	福岡朝日ビル (△)
宮崎	ひまわり荘(宮崎県市町村職員共済組合)

※会場欄の★印は初級検定と中級検定の実施会場、△印は中級検定のみの実施会場、無印は初級検定のみの実施会場

※先着順で受け付け、定員に達し次第締め切りますので、受検をご希望の方はお早めにお申し込みください

第89回メーデー中央大会に出展します！

～お気軽にお立ち寄りください！～

4月28日(土) 10:00より、第89回メーデー中央大会に出展します！
 場所は代々木公園C地区です。
 皆様のお越しをお待ちしています。

出展内容

- 第15回「私の提言」募集のお知らせ
- ILEC書籍の展示
- おすすめの本と資料の紹介
- お楽しみコーナーでは、人気のダーツに参加すると、お菓子や風船がもらえます！



▲第88回メーデーの様子

「本と資料の紹介コーナー」をのぞいてみてください！

本と資料の紹介コーナー
 Books and Documents

教育文化協会のホームページにある「本と資料の紹介コーナー」をご存じですか？
 このコーナーでは、労働運動、労働組合の分野を中心に、皆さんに読んでいただきたい本を取り上げています。また、連合周辺の刊行物についても、紹介を行っています。

2018年2月の紹介本として、以下の4冊を取り上げています。「どんな本を読んだらいいかわからない」、あるいは「最近話題になっている本の内容を知りたい」という方は、一度のぞいてみてください。



編集後記

「ILEC通信」が第50号を迎えました。2003年4月に発刊された第1号(写真)では、Rengoアカデミー第2回マスターコース修了式の様子が掲載されました。晴れやかな表情の修了生が納まった集合写真とともに、第1回・第2回マスターコースの修了生が、あわせて50名になったことが記されています。

それから15年が経ち、現在は第17回マスターコースで22名の受講生が研鑽を積んでいます。これまで(第16回マスターコースまで)の修了生は、あわせて365名まで増えました。派遣いただく各組織の皆様のご長年にわたるご支援と、先生方の温かいご指導、修了生のその後のご活躍によってこの事業が継続して来られたことを改めて感じました。

さらに号を進めていくと、「第7期女性リーダー養成講座(第4号)」「わかる、使える、役に立つ 第2回広報講座(第5号)」「第10回連合囲碁将棋大会(第8号)」など、教育文化協会がこれまでに様々な事業を行ってきたことがうかがえます。

「ILEC通信」の担当者として、これからも、教育文化協会の事業を分かりやすく、かつタイムリーに伝えられる紙面をめざして参りたいと思いますので、引き続きのご指導のほど、よろしくお願いたします。

(こん太)

